

Ⅱ プログラムの特徴

現場見学会

工事現場などを直接見学することは、授業や教科書では学ぶことが難しい、建設業の現場の魅力を肌で感じるようになる最良の機会である。高速道路やダム等の巨大な構造物の前では、多くの生徒がその圧倒的なスケールやダイナミックな工事に驚き、家づくりの現場では匠の技に目を見張る。他のものづくりの世界では味わうことのできない感動を与え、建設業の魅力発見に効果的に作用するのが現場見学会である。少しでも早い時期から建設業に魅力を感じ、良いイメージを確立するために、1年生から実施することや随時取組むことも必要となっている。

■ 地域の社会資本整備の意義を学ぶ

普段見ることができない住宅や巨大構造物が出来上がる工程を見学することは、建設業の魅力を感じるとともに、社会資本整備の必要性を改めて考える機会にもなる。

長崎県ではモデル校が合同で高速自動車道工事現場を見学、栃木県の宇都宮工業高等学校はダム工事現場を見学。両地域とも、1年生が地域で進められる社会基盤を整備する意義を学んだ。



西九州自動車道の建設工事現場を見学
(長崎県3校の合同)

■ 地域の安全に貢献する建設業の姿を見る

地域社会の安全・安心に貢献する建設業の姿を間近で見学することは、建設業の社会的役割を知るうえで大変貴重な体験となる。

宮城県の前川工業高等学校は、地域を襲った大震災の復旧現場の見学を1～3年生を対象に実施、土木工事が地域の安全に果たす役割を体感した。新潟県でも地震に強い在来工法による木造建築の現場を見学している。



岩手・宮城内陸地震災害復旧現場を見学
(宮城県前川工業高等学校)

■ 地域のニーズに対応した現場を選定

環境や町づくりによる活性化など、地域のニーズに応える現場を見学することも建設業の社会的役割を学ぶ方法である。

兵庫県の前橋工業高等学校は、合同で瀬戸内のアートプロジェクトを見学。現代アートによる地域振興策や、建築を芸術的・環境的観点から捉える視点を育成している。群馬県の前橋工業高等学校は富岡製糸工場を見学し、伝統建築の再生による地域活性化手法等を学んだ。



伝統建築の富岡製糸工場を見学
(群馬県前橋工業高等学校)

効果と反響

まずは、感動や驚きを憶える

建設現場では、多くの生徒が巨大な構造物に圧倒され、ミリ単位で計算されて作られていることにさらに大きな驚きを憶えている。普段見られない現場を見学し、働く人から生の話を聞くことができる体験は、とても貴重であると多くの生徒が認識している。

【参加者からのコメント】

- 橋梁の橋脚上部の工事現場を見学したが、橋梁に使うコンクリートの量がドラム缶5,000本という、ものすごい量を使って作っているの聞いて、本当に驚いた。
- テレビで見た被災地を一体どうやって直すのか、とても関心があった。1年ほどの短時間に復旧がかなり進んでいる状況を実際に見て、土木工事の果たす役割を知った。

建設業に対する憧れを抱く

現場見学は、ほとんどの地域が1日に1～2カ所を見学するスタイルで行っている。「土木工事は壮大だ」という感想には、はっきりとした職業観というよりも、建設業に対する憧れを抱いていることがうかがえる。

【参加者からのコメント】

- 初めてトンネルや橋の現場を見学した。知らないことばかりだったが、土木の仕事はスケールが大きく、やりがいのある仕事だと思った。
- 道路工事の作業は、なにより体全身を使うものであると感じた。あんな仕事をする人が、とても誇らしく思えた。

興味や関心を醸成する

ダムや高速道路などの建設現場や災害復旧工事現場などの見学は、建設業が社会的基盤の整備に大きく貢献していることを知るきっかけを提供する。長崎県では、現場実習(測量)を行う前に風力発電施設や魚礁工事の現場を見せ、現場のダイナミズム、漁業や環境にも役立っていることを意識させて、続いて行う現場実習への意欲を高める工夫を施している。

【参加者からのコメント】

- 空気ので重い住宅が、一瞬にして5cm程度浮上する様子には驚いた。初めてエア免震構造という、地震力を吸収する仕組みを学んだ。
- 高速道路の高架橋工事では、道路が傾いているのが気になった。カーブを曲がる時に遠心力が働くように造られていると聞いて、関心した。



世界最大級の洪水防止施設、首都圏外郭放水路を見学
(栃木県立今市工業高等学校)



近代化産業遺産の犬島精錬所跡を見学
(兵庫県2校の合同)

課題とその対応例

▶受入先との調整業務

大半の地域で課題となっているのが、見学先の確保と調整である。見学への移動手段においても企業側に頼るケースも生じており、今後に向けて予算化や各機関との調整が求められている。

▶事前研修業務

見学の教育効果を高めるため、事前・事後研修に力を入れつつある地域も多い。群馬県は、見学目的や見学先について予め教える事前指導に加え、事後にもアンケート・感想文を書かせ内容をまとめる学習を実施している。